



就職試験・大学受験シーズンへ突入！

<就職関係>

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて例年より1ヶ月遅れの10月5日から採用試験の応募が開始となりました。本校3年生も5名の生徒が、県内外の民間企業へ応募しました。採用試験は、10月16日以降に随時実施されます(もうすでに受験してきた人もいます)。就職希望者は、これまで数多くの求人票を検索し受験先を絞り込み、企業訪問をして、ここに到っています。受験先が決定してからは、履歴書の作成および筆記試験の勉強や面接練習を重ねてきました。併せて、8名の公務員志望者(自衛隊2名を含む)も公務員試験にチャレンジしています。

昨年度までは「売り手市場」の傾向が強い高卒者就職状況でしたが、今年度はコロナ感染症問題のあおりを受けその状況が一転しました。特に、事務系や観光・宿泊関係の職種の求人が減少しています。就職を巡る状況は決して良好ではありませんが、「4月からは社会人として羽ばたいていく！」という確固たる気概を持って臨んでほしいと思います。

<進学関係>

11月1日から大学・短大の学校推薦型選抜(推薦入試)の出願が始まります。専門学校や私立大学については、もうすでに総合型選抜での合格を決めた人もいます。推薦入試においては、選考方法として、小論文や面接が課されることが主流です。今後、一般選抜に向けての学習(推薦型選抜で合格できなかった場合を想定して)も継続しながら、11月下旬に実施される推薦入試に向けての準備を進めていくこととなります。自分で選択した道とは言えどもかなりのハードスケジュールになります。しかし、推薦選抜の可否とは関係なく、こういった取り組みは今後の生活につながる"確固たる力"になるはずです。

～受験は一人のものだけれど、受験は一人だけのものではない～

このような中、クラス内でも他の人の動向が気になる時期です。「〇〇高校の友人が推薦に出願した」とか、「××は△△大に合格した」という情報に、心がいろいろと動くこともあります。生徒本人だけでなく、保護者の方々も落ち着かないのが本音です。でも、当たり前のことですが、人はそれぞれです。考え方も、価値観も違います。進路を選択する権利は自分自身にあり、最後の決断をするのも自分です。

同じクラスには、就職する人、専門学校に進学する人、大学進学する人(総合型選抜・学校推薦型選抜・一般選抜など受験形式もそれぞれ)と様々な進路希望の人たちが共に生活をしています。よい空気、よい雰囲気をつくれれば、その中の一人ひとりに効果が波及します。「あの人が頑張っている。」「最近〇〇さんは本気で勉強している。私もやらなくちゃ！」と思うものです。仲間の行動や言動に刺激されるのはよくあることです。集団のエネルギーの中で個人は伸びます。「集団としての上向きの力」をつくりたいものです。

進路行事実施報告

外部人材活用講座 10月9日(金) 1～2年生全員対象(3年生希望者も含む)

大学の先生の講義を聴ける絶好の機会でした。皆さんが書いた感想文をみると、大学の授業のイメージが変わり、その分野の面白さが伝わってきて楽しくためになったと書いた人がたくさんいます。

高校1、2年の時期に、学問の一端に触れることができるのはとても貴重な経験です。大学での勉強の基礎は知的な好奇心にあると思います。未知のことに「面白いなあ、もっと知りたいなあ」と感じる事ができれば、それは十分な学習のエネルギーになります。また、こういった新しい知識は、必ず今後のいろいろな勉強の土台になるでしょう。

今回の講座の感想については、後日、学校ホームページでいくつか紹介します。

●各講座「分野・テーマ・講師」は下記のとおり

- | | |
|----------|---|
| ①人文 | 「考古学とは何か～大学での学び」 福島大学行政政策学類 教授 菊池 芳朗 先生 |
| ②外国語・異文化 | 「何ヶ国語できますか?～ことばの数え方」 山形大学人文社会学部 准教授 天野 尚樹 先生 |
| ③経済・地域政策 | 「商いの経済原則：未利用資源の発掘と顧客の創造」 高崎経済大学経済学部 教授 藤本 哲 先生 |
| ④教育 | 「誤読と脳の不具合～教師はどのように支援したら良いか」 福島大学人間発達文化学類 教授 佐藤 佐敏 先生 |
| ⑤幼児教育 | 「幼稚園の先生・保育士を目指す生徒さんたちへ」 会津大学短期大学部幼児教育学科 教授 河原田 潤 先生 |
| ⑥理学 | 「新しいモノづくりとコトづくりー機械を創るー」 福島大学共生システム理工学類 特任教授 小沢 喜仁 先生 |
| ⑦工学 | 「自動車に使われる高分子」 山形大学工学部 准教授 松葉 豪 先生 |
| ⑧看護・医療 | 「看護職への道を探求しよう / がん医療・看護を考えてみよう」 福島県立医科大学看護学部 講師 三浦 浅子 先生 |

小論文講演会

10月8日(木) 3年生希望者(約50名)対象

(株)ベネッセコーポレーション東北支社福島県担当の山村拓輝様を講師としてお招きしまして、約1時間にわたるご講演をいただきました。"小論文"とは「自分の考え」と「その理由」を述べるものである。そのうえで、小論文で必要になってくる力<①相手をしっかり知る・②自分の意見をしっかり持つ・③書き方(テクニック)をしっかり知る>について、更には、説得力のある意見や理由の構築のための3つの軸(時間軸・空間軸・人の軸)についての講義を受けました。講演会の終盤ではワークシートを用いての作業も加わり、充実した時間になったようです。今回の講演で得たノウハウをもとに、今後、実践力が高まることを期待します。

福祉・看護体験

9月26日(土) 2年生希望者(16名)対象

北会津保健センターを会場として、特別養護老人ホーム「ラスール坂下」の担当の方から、介護現場の現状や介護職についての説明を受けました。当初の予定では、施設見学や介護体験も計画されていましたが、新型コロナウイルス感染症の懸念もあり体験活動は見送りとなりました。しかしながら、参加者の事後感想には、「福祉・介護の仕事の意義や魅力について知ることができた。」「今まで抱いていた介護職に関するイメージが少し変わった。」「とても有意義な時間となり、福祉関係の仕事に益々興味がわいた。」という記載が多く見られた。「ラスール坂下」の職員の皆様、お世話になりました。

